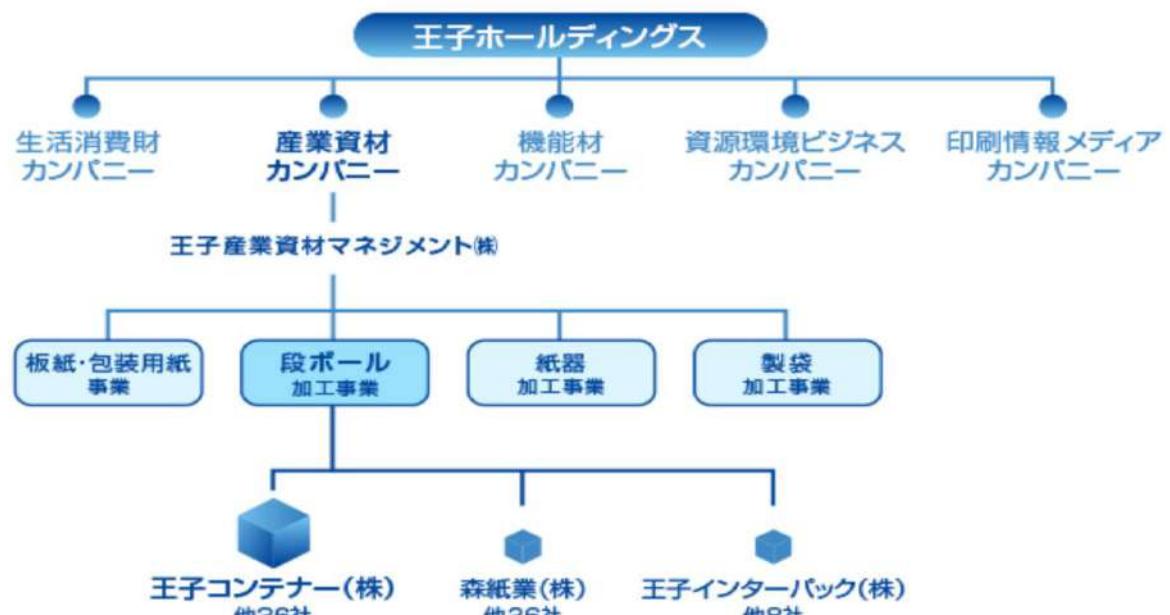


会社概要		
設立	2005年10月1日	2021.3 売上高 109,934百万円 (前期比 96.9%) 純利益 +675百万円 (前期比 169.6%)
資本金	100億円	
営業品目	段ボールシート・ケースの製造販売 包装機械の開発・販売 包装資材の製造販売	
代表取締役社長	伏野 裕	
従業員数	1,724名 (2019年3月31日現在)	
決算期	3月31日	



## 会社沿革

### 王子ホールディングス(株)

1873年	渋沢栄一[抄紙会社]設立
1893年	商号を王子製紙に改称
1952年	上質紙 生産開始
1959年	段ボール原紙 生産開始
1971年	家庭紙 生産開始
1974年	高級白板紙 生産開始
1993年	神崎製紙(洋紙)と合併

### 事業所

<製造拠点> 27ヶ所  
釧路、札幌、青森、仙台、福島、霞ヶ浦、つくば、茨城、宇都宮、高崎、埼玉、東京、神奈川、長野、富士、静岡、名古屋、幸田、滋賀、大阪、兵庫、三原、防府、徳島、愛媛、九州北、熊本

- ・営業所 20ヶ所
- ・CS推進部 5ヶ所
- ・美粧印刷部 2ヶ所 富士:兵庫
- ・本社 中央区銀座 王子HD内
- ・開発部 江東区東雲

1996年	本州製紙(板紙)と合併
2001年	王子マテリア 発足
2005年	森紙業をグループ化
2012年	持株会社王子HDに移行

### 王子コンテナー(株)

2001年	グループ8社合併発足
2005年	王子CTとチヨダCT合併
2015年	王子産業資材マネジメント(株)発足

CT : コンテナーの略





## ■ セットアップケーサ [Set Up Caser]

糊貼りしたケースを起蓋し、製品を充填。  
合理的な包装で、小物から大物まで幅広く対応します。



## ■ 特徴

糊貼りしたケースハサイドから製品を充填する、合理性と安全性を追求した機能中心設計。構造ができるだけシンプルにすることで、メンテナンスにも優れ、サイズエンジンも容易です。コンパクトな集積装置も装備し、小物から大物まで幅広く対応します。

## ■ ラップアラウンドケーサ [Wrap Around Caser]

段ボールのプランクシートで製品を包み込むように包装。  
サイドから充填しにくい製品に適したケーサです。

## ■ 用途

■ ピン製品  
缶製品  
カップ製品  
カートン製品  
袋詰め製品  
工業製品  
など



## ■ 特徴

段ボールのプランクシートで製品を包み込むように包装する、サイドから充填しにくい製品に適したケーサです。コンパクトで使いやすく、構造もシンプルなので、メンテナンスが容易でパッケージのサイズエンジンを簡単に行うことができます。仕切挿入装置などのオプションも豊富で、

## ■ 用途

■ ピン製品  
缶製品  
カップ製品  
カートン製品  
袋詰め製品  
工業製品  
など

包装形態  
PACKAGING FORM

## ■ [フレッシュコンテ]

荷崩れを防止する積重ねロック構造で確実に積重ねることができます。



商品が見やすい天面開放の積重ね容器。商品の鮮度が確認しやすく、店頭で箱入りのまま陳列できるなどPOP機能も備えています。荷崩れを防止する積重ねロック構造で、確実に積重ねることができます。

## ■ 使用例

■ 果物  
野菜  
など

包装形態  
PACKAGING FORM

## ■ 段ボール緩衝材

緩衝性と固定性能を高めました。



段ボールの素材特性を利用した発泡スチロール緩衝材に替わる製品です。段ボール製ですから、回収・再生が容易です。



## ■ 使用例

■ 情報機器  
家電製品  
経貿  
など

## 2008年度日本パッケージングコンテスト 電気・機器包装部門賞 受賞

## PROJECT

リサイクルトナーカートリッジの包装改善

## CATEGORY

CO<sub>2</sub> 排出量削減

リサイクルトナーカートリッジの従来のウレタン発泡緩衝材に替わる段ボール緩衝材を開発しました。



## GOOD PACKAGING

## POP・店頭販売包装部門賞

## 『開封しやすく即陳列できるカートン「サクッとオープン」』



## 王子コンテナー（株）

小売店において、商品の陳列・開封時の作業軽減・作業時間の短縮などが求められている。作業人員も減少傾向の中、簡易なアクションで開封・陳列でき、現状の生産・流通の条件で扱える「簡単にトレイにできるSRPカートン」として、「サクッとオープン」を開発した。

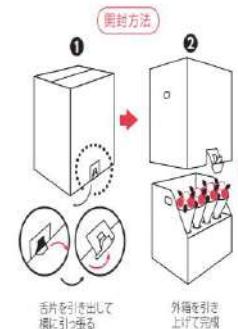
## ■ 事業戦略トピックス

## 新しいパッケージ製品の開発

従来のシェルフレディ・パッケージ(SRP)は専用の自動機械でしか製造することができませんでした。当社は機械のいらないSRP「ブル・ポップカートン」を開発しました。開発のポイントは、①輸送用ケース(外箱)と展示用ケー

ス(内箱)を簡単に連結できます、②外箱と内箱がしっかりと固定されます。カッター不要、ワンアクションで外箱と内箱を分離することで、簡単に店頭にて陳列できます。

## SRP「ブル・ポップカートン」



■ 開封方法  
1  
2

■ 背面  
■ 店頭

■ 背面  
■ 店頭

## S R P (王子HD)

S R P  
(Shelf Ready Packaging)

カッターなどを使わずに  
簡単に開封でき、そのまま  
店頭などで商品を陳列  
できるパッケージ

### 形態種別

① 1ピース

開封用ジッパーなど

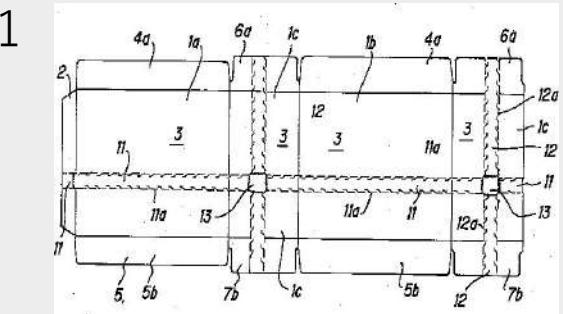
② 2ピース

蓋+本体

蓋を外し即陳列可能

③その他

人手不足の中、店頭で  
いかに簡単に開封して、す  
ぐに陳列できるかがポイ  
ント



1

5

9

2

6

10

3

7

11

4

8

12